

About TDK

TDKは、世界初の磁性材料フェライトの事業化を目的として1935年に設立され、「創造によって文化、産業に貢献する」という創業の精神に基づき、電子材料、電子デバイス、記録デバイス及び記録メディア等の製品の研究開発と商品化に取り組んでおります。

今後も活力あふれる会社であり続けるために、常に新しい発想とたゆまぬチャレンジ精神によって、株主、顧客、取引先、従業員、地域社会というすべてのステークホルダーに、より高い企業価値を提供し続ける企業でなければならないと考えております。

目次

連結財務ハイライト	01	部門別売上高	16
ステークホルダーの皆様へ	02	営業の概況	18
Topインタビュー	04	電子素材部品部門	
特集「新製品・新技術を生み出すTDKの『現場力』」	07	電子材料	18
大画面液晶テレビのコストダウンと 省エネ化を大きく推進		電子デバイス	19
TDKのコアテクノロジーを駆使した 多灯並列駆動用インバータ	08	記録デバイス	20
開発と製造の連携プレーが至難の量産化技術を確認 積層チップバリスタAVR-Mシリーズ	10	その他電子部品	21
常識破りの発想と未来を先取りする チャレンジから生まれた		記録メディア製品部門	21
小型・低背電源系SMD(表面実装) インダクタ VLF3010	12	研究開発活動	22
強い「現場力」はTDKの誇り	15	企業の社会的責任	23
		取締役、監査役及び執行役員	28
		財務セクション	30
		財務データ一覧	44
		投資関連情報	46

将来に関する記述についての注意事項

当冊子には、当社または当社グループ(以下、TDKグループ、といいます。)に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価などといった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営業績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの冊子を発行した後は、法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更などがあります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。